

ひまわり組だより



2021年2月

尚徳福祉会 馬橋保育園

午睡のない生活にも少しずつ慣れてきた子どもたち。乳児クラスを訪問して、小さな子のお世話をする仕事も始まり、みんな張り切っています。カルタ作りや「じぶんへのしつもん」に答える活動を通して、文字と親しむ機会も増えました。「長い針が9までに食べ終わったー」と食事時間を気にしたり、午後1時～3時は静かに遊ぶ約束を守ろうとしたり、就学を意識した行動もとれるようになってきました。

今月から卒園式に向けての様々な楽しい活動がスタートします。そのひとつひとつに子どもたちが意欲的に取り組み、やり遂げる喜びを存分に味わえるように心がけていきたいと思います。

今月のねらい

- 必要な習慣や態度を身に付け、生活や活動に見通しを持って、主体的に行動しようとする。
- 遊びや活動の中で、自分の力を発揮して自信を持ち、友だちの良さにも気づいていく。
- 自然の変化に興味を持ち、観察したり様々な発見をしたり、遊びに取り入れたりしていく。

お知らせとお願い

小学校の先生と話し合う機会がありました。4月からはマスク着用の生活が始まりますが、慣れるのに苦労する新入生が多いそうです。

そこで子ども用マスクを用意していただき、保育園でもマスクを装着して生活していきたいと思います。ご協力よろしくお願いします。

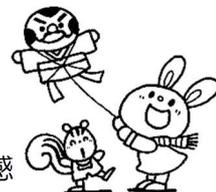


「ともだちのいいところさがして たのしいね!」「きょうは わたしのぼんだ!」

卒園アルバムに載せるために、「友だちのいいところを発見しよう」という話し合いを続けています。「〇〇ちゃんは洋服がかわいい」「〇〇くんは顔がカッコいい」など、最初は外見のコメントが多く寄せられました。でも回を重ねるうちに、「面白い遊びを考えてくれる」「友だちに優しい」など、友だちの内面に触れる意見が増えてきたのです。他の子も同じように感じているときには、「たしかにー」と賛同する声を次つぎに上げて、言われている本人はニコニコ嬉しそう! 仲間の絆がさらに深まっているひまわり組です。

「たごが わたしのめいれいどおりに うごくよ!」「また きちづくりの つづきをしようね」

グラウンドへ凧あげに行きました。昨年ほうまく飛ばずに、すぐ飽きてしまった子どもたち。今年は、「どうやったらほうまく飛ばすかな?」「こうすれば走らなくても大丈夫」と自ら考えて工夫し、「わぁ、凧がお化けみたいに追いかけてくる!」「『上がれ』って言うと空に上がったよ」と感想も言い合い、夢中になっていました。林の中ではみんなで大きな石を木の根元に積み上げ、それを踏み台にして木登りしたり、木の枝を集めて基地作りをしたり、協力し合う醍醐味を味わっていました。



2がつうまれの おともだち ★おたんじょうび おめでとう★

